

第1回脱炭素部会 議事録

開催日時：令和4（2022）年11月24日（木）12時10分～12時30分

開催場所：もりやまエコパーク環境センター研修室

出席者：【委員】河瀬委員、島田委員（審議会会長）、松田委員、大崎委員（審議会副会長）、木崎委員、津田委員

【関係者】内田氏（池尻委員代理）

【守山市関係者】木村環境生活部部長、高橋環境生活部次長、伴環境政策課長、田中環境政策課参事、杉江環境政策課主任

1.開会

（事務局）

続きまして、守山市環境審議会脱炭素部会を開催いたします。本会に引き続き、ご出席いただきありがとうございます。

部会につきましても、審議会と同様に、守山市環境審議会運営規則第3条第2項により、開催には、委員の過半数の出席が必要と規定されており、本日は、部会の委員7名の内、7名の委員に出席頂いており、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

2.挨拶

○木村環境生活部部長挨拶

3.部会長・副部会長の選出

（事務局）

審議会運営規則第2条第2項の規定により、部会長および副部会長は、委員の互選によることとしております。委員の皆様のご発言をお願いいたします。

（委員）

事務局の案がありましたらお願いいたします。

（事務局）

事務局といたしましては、部会長には、滋賀県環境審議会委員を歴任され、地球環境問題などの分野でご活躍されておられます、琵琶湖環境科学研究センターの河瀬委員に、また、副部会長には、第二次環境基本計画の策定にかかる審議においても委員としてご尽力を賜りました、滋賀県地球温暖化防止活動推進員の松田委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（委員一同）

異議なし。

（事務局）

ありがとうございます。それでは、部会長に河瀬委員、副部会長を松田委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○部会長・副部会長の挨拶

4.審議事項

(事務局)

資料1「脱炭素部会について」に基づき説明。

第2次計画までは、脱炭素に関する事項につきまして十分取り組めていなかったことから、第3次計画策定にあたり重点的に検討していきたいと思っております。

主な検討事項といたしましては、いくつかありますが、特に脱炭素に関するビジョンや目標の検討、再生可能エネルギーや化石燃料を使用しない新たなエネルギー源の検討を行っていきたいと考えております。

新たなエネルギー源としましては、太陽光以外にもバイオマスなども検討していきたいと思えます。また、市民や事業者と協働した取組についても検討していきます。来年1月に部会での環境ビジョンと目標について話し合いたいと考えております。

先程の環境審議会での資料にありまして、まず脱炭素部会で審議したあと、環境審議会での経過を報告、改めて意見をもらう流れで進めていきますので、よろしくお願ひいたします。

(部会長)

只今の説明について何かご意見等がございましたらお願いします。

(委員)

計画目標ですが、先ほどの審議会資料にあったスケジュールによれば、次回の脱炭素部会で環境ビジョンや方向性等を立てなければなりません。あまりスケジュール的に余裕もないかと思えますし、この部会は7名の委員ですので、速やかに日程調整いただき、開催日を決めつつ、次回までに事務局で案をまとめていただきたいと思います。

国に合わせた目標もありますが、守山市環境学習都市宣言でも、持続可能な社会について触れられています。これらを踏まえて、だから今脱炭素をやるのだということがわかる資料を作してほしいと思えます。

(部会長)

脱炭素部会の役割につきまして、本会議は計画の全体を議論する場であり、部会では脱炭素について集中的に話し合うという認識で、皆様お願いできればと思えます。

(事務局)

今後、お示ししましたスケジュールに沿って、速やかに審議を進めてまいりたいと思えますので、次回以降の脱炭素部会にかかる日程調整や開催案内につきましては、メールにてご連絡させていただきます。よろしくお願ひいたします。

5.閉会

審議会に引き続き、長時間にわたりご審議いただきまして、本日は誠にありがとうございます。閉会にあたりまして、環境生活部次長の高橋よりお礼のご挨拶を申し上げます。

○高橋環境生活部次長挨拶